科目コード	R7035	科目名	社会参加支援論				
履修区分	必修	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	未定						
授業の概要	作業療法は、作業を通じて対象となる方々の社会参加の機会、手段の選択肢を提示し、支援していく役割があります。本講義では、作業療法の視点から「参加」をどうとらえるのか、身体機能、精神機能、発達過程など各領域による参加支援の実際を、講義を通して学んだ後に、演習シートを用いて理解を深めていきます。文献検索とレビューの方法を紹介しますので、開講期間中に、各自で、社会参加支援に関する文献を読み、レビューを作成し、最後の３回で、抄読会を行います。						

DPとの関連		
	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける	○
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける	ー
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける	◎
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける	△
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください	
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	１．作業療法における社会参加とは何か、述べることができる ２．各領域の支援について具体的な例を挙げることができる ３．生活行為向上マネジメントについて特徴を説明できる
履修上の注意事項	講義で伝えた内容を、演習によって深めるように進めていきます。演習シートは毎回提出するように計画していますので、授業中もしっかりとテーマについて考え、言語化することに挑戦してください。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	オリエンテーション、参加とは：講義計画の概要を説明する 演習(1)文献を読んで参加について考える	学生自身の参加について考える
2	ICFにおける参加について：演習(1)の振り返りと、ICFにおける参加の意義を講義する 演習(2)例の中から、参加に分類されるものがどれかを演習で考える	ICFの各項目の意味に触れ、説明を試みる
3	身体機能領域における社会参加支援(1)：事例を紹介する 演習(3)症例紹介の中の評価結果について調べ、関連する知識を確認する	事例を理解するための知識について、不足があれば調べておく．
4	身体機能領域における社会参加支援(2)：事例を紹介する 演習(4)症例の状態に応じた環境への介入、介護保険の概要を調べる	事例を理解するための知識について、不足があれば調べておく．
5	精神機能領域における社会参加支援(1)：事例を紹介する 演習(5)統合失調症についての基本事項を復習し、ACTについて調べる	事例を理解するための知識について、不足があれば調べておく．
6	精神機能領域における社会参加支援(2)：事例を紹介する 演習(6)支援のための具体的な手段について調べる	事例を理解するための知識について、不足があれば調べておく．
7	発達過程領域における社会参加支援(1)：社会資源について資料を提示する 演習(7)インクルーシブ教育システム、特別支援学級や通級指導教室について調べる	事例を理解するための知識について、不足があれば調べておく．
8	社会参加のための介入手段(1)：対象者の体験と参加の関係について講義する 演習(8)生活行為についてお互いにインタビューを経験する	COPMについて調べ、重要度、遂行度、満足度について理解しておく．
9	社会参加のための介入手段(2)：生活行為向上マネジメントについて学ぶ 演習(9)自分の作業について工程分析を行う	作業がうまくいかないときの状況を、人、環境、作業の視点で分析してみる．
10	社会参加のための介入手段(3)：生活行為向上マネジメント事例学習(1) 演習(10)事例情報の中から、社会資源に関する情報と工程分析を行う	障害高齢者の日常生活自立度について調べておく．
11	社会参加のための介入手段(4)：生活行為向上マネジメント事例学習(2) 演習(11)新たな事例について、アセスメント演習シートを作成する	グループ内で決めた役割に沿って事前の準備をする．
12	社会参加のための介入手段(5)：生活行為向上マネジメント事例学習(3) 演習(12)第11回の事例についてグループでプラン演習シートを完成させる	プレゼンテーションの準備をする．
13	文献抄読会(1)：講義外課題である社会参加支援の文献発表を行う	発表者は発表の振り返りを、他は発表練習をしておく
14	文献抄読会(2)：講義外課題である社会参加支援の文献発表を行う	発表者は発表の振り返りを、他は発表練習をしておく
15	文献抄読会(3)：講義外課題である社会参加支援の文献発表を行う	発表者は発表の振り返りを、他は発表練習をしておく

成績評価方法	課題レポートにて評定する。評定の尺度は開講期間中に提示する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	就労支援の作業療法ー基礎から臨床実践までー，中村俊彦・建木建・藤田さより（編著），医歯薬出版株式会社	978-4-263-26663-2
参考書	地域作業療法学　第3版 ・ 大熊 明（医学書院）	978-4-260-03165-3
	事例で学ぶ生活行為向上マネジメント ・ 日本作業療法士協会（医歯薬出版）	978-4-263-21538-8

教員からのメッセージ	身体や精神の症状や障害は、対象者の問題を形作る要素のひとつです。対象者を取り囲む環境、関わる人々、暮らしぶりなどの包括的な視点で考える習慣を身につけていきましょう。
教員との連絡方法	
実務経験のある教員	